

防災クイズ（一般用） 解答

1. × 日本の国土面積は世界の 0.3%にすぎませんが、世界中の 20%以上を占めています。
(マグニチュード 6 弱以上の地震)
2. × 兵庫県警察本部によると、死因のうち 83.7%の人が家具・家屋の転倒倒壊等による圧死・窒息死とされています。
3. ○ 火災学会によると、阪神淡路大震災で生き埋めや閉じ込められて歳の救助は、自力で 34.9%、家族に 31.9%、友人・隣人に 28.1%、通行人に 2.6%、救助隊に 1.7%、その他 0.9%でした。
4. × そのほか、神縄・国府津一松田断層、三浦半島北断層群の活断層自身が想定されています。
5. ○ 発生直後には商店から食料は買うことができません。そのため非常食 3 日分を含め、7 日分を目安に準備しましょう。
6. × 震度 7 が想定されている一部地域があります。
7. × 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなるのは、震度 6 強。震度 7 では、
・耐震性の低い木造住宅は、傾くものや倒れるものが、多くなる。
・耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。
・耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物では、倒れるものが多くなる。
8. ○ その通りです。泉区には地域防災拠点（震災時避難所）は 23 か所あります。小学校と一部中学校が指定されています。その体育館を中心に 1,000 名を超す避難者が押し寄せることが想定されています。
9. × いったん避難所とは、地震発生後、周囲の様子を見たり、次の避難場所（震災時避難場所、広域避難場所）に移動するために、地域住民が一時的に集まる場所です。場所の選定は自治会・町内会が行っていますので、自治会・町内会の役員などに確認してください。
震災時避難場所『地域防災拠点』とは、震災により家が倒壊したり、倒壊の危険がある場合に、一時的に避難生活を送る場所で、食糧・水・救援物資などの配布や生活情報の提供、家族の安否確認を行う場所としての役割も担っており、泉区では地域別に **24 か所** (瀬谷区・日向山小学校を含む) の小・中学校が指定されています。あらかじめ自分の指定避難場所を確認しておきましょう。
10. × 災害で断水が生じた際に応急給水復旧活動を迅速に行うため、配水池、災害用地下給水タンク、緊急給水栓などが整備されていますが、区内全小中学校に整備されているわけではありません。
地下給水タンクは、岡津、葛野、中和田、緑園東の各小学校、泉が丘、いずみ野、中田、領家の各中学校、いちよう団地の 9 か所に設置されています。